

表4 昭和57年度婦人科検診

子宮ガン

受診者	検査結果		
	異常なし	要精検	がん
3345	3321	26	0

乳ガン

受診者	検査結果		
	異常なし	要精検	要経過観察
1410	1330	8	72

表5 昭和57年度婦人科検診再検査結果

区分	要精検者	受診者	再検査結果		
			異常なし	経過観察	がん
子宮がん	26	24	10	14	0
乳がん	8	3	0	3	0

表6 昭和57年度へき地巡回検診車による検診結果

検査項目	受診者	検診結果		
		異常なし	要注意	要治療
胃	508	339	169	0
肝機能	552	481	59	12
血圧	554	470	78	6
尿	550	466	84	0
心電図	241	195	42	4

表7 昭和57年度へき地教職員血液による検査結果

検査項目	受診者	検査結果		
		異常なし	要注意	要精検
循環器	802	678	77	47
心肝臓機能	802	713	52	37
膵臓機能	802	783	15	4
動脈硬化症	802	609	164	29
進行性炎症	802	765	37	0
腎肝循環器	802	788	14	0
栄養状態	802	728	48	26

いるが、女子教職員の希望者全員を対象に子宮ガン、三十五歳以上の女子教職員を対象に乳ガン検診を実施し、子宮ガン、乳ガンの早期発見、早期治療に努めている。

子宮ガン、乳ガン両検診は、前年同様希望者全員が受診できる態勢を整えており受診率の低い現状からも是非全対象者が受診されるよう望むものである。

昭和五十七年度による検診結果は表4のとおりで、要精検者の再検査結果は表5のとおりである。

(三) へき地教職員健康検診

へき地学校に勤務する教職員及び、家族を対象に、東北中央病院の巡回検

診車による検診と、県保健衛生協会の採血車による、血液検査を実施している。

今年度の検診車は、南会津、双葉、相馬、田村、耶麻、会津若松市、郡山市の各方を巡回し、その他の地域は血液採血による健康検査を実施する。

昭和五十七年度の検診結果は、表6表7のとおりである。

以上のほか二級地以上のへき地学校に勤務する教職員の健康管理を図るためへき地教職員の人間ドックを実施している。

(四) 健康づくり

健康に対する関心を高めることと健康状態の目安を測ることを主目的とし

表3 昭和57年度人間ドック年齢別男女別検査結果
(受診者にしめる「異常なし」の割合)

年齢		40才	45才	50才	55才	56才以上
呼吸器系	男	85 ⁵	79 ⁷	81 ⁶	63	61 ⁴
	女	92 ⁵	80 ³	87 ⁴	82	66 ⁷
循環器系	男	42 ²	36 ⁸	36 ⁴	29	17 ¹
	女	61	57 ²	43 ⁷	42	16 ⁶
消化器系	男	58 ⁴	45 ¹	48 ⁸	47	45 ⁷
	女	67 ⁵	62 ¹	58 ¹	78 ⁷	41 ⁷
肝機能	男	73 ¹	78 ⁶	76 ⁹	77 ¹	81 ⁴
	女	91 ⁹	91 ⁹	87 ³	93 ⁷	84 ⁶
糖尿病	男	64 ⁴	59 ²	58 ⁹	53 ³	36 ⁶
	女	78 ⁶	72 ⁶	70 ⁹	62 ⁷	18 ²